

専門委員会開催報告

専門委員会名	第12回「遮蔽計算の応用技術」研究専門委員会
開催日時	平成 31 年 2 月 21 日(木) 13:30-16:30
開催場所	理化学研究所 東京連絡事務所 東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング(COREDO 日本橋)15 階会議室 1+2
参加人数	11名, 上叢主査(理研), 奥村幹事(JAEA), 根本幹事(日立 GE), 浅見幹事(海技研), 糸賀幹事(JASRI), 中根(JAEA), 今野(JAEA), 佐藤(QST), 岩下(IHI), 坂本(アトックス), 中田(MHI-NS)
議 事	<p>1. 事務連絡及び議事録の確認 上叢主査より, 配布資料と前回議事録(案)の説明がなされ, 第 11 回会合議事録案は変更なく承認された.</p> <p>2. 「原子力施設の遮蔽設計例」・「PWR」の原稿案紹介(中田委員) 中田委員より(旧)第 6 章「原子力施設の遮蔽設計例」のうち, 第 2 節「PWR」の原稿案について紹介がなされた. 旧ハンドブック以降の法令改正に対応するとともに, 福島第一原子力発電所の事故以降に定められた重大事故対応を書き足しているとの説明がなされた. 本原稿内について委員により修正案や表現方法についてのコメントが出され, 次回以降に修正原稿案を提出することとなった.</p> <p>3. 「設計手順および計算手法の選択ならびに注意点」の原稿案紹介(上叢主査) 上叢主査より, 前回の委員会で提案された旧 2 章と旧 3 章を合体させた新 2 章「2. 設計手順および計算手法の選択ならびに注意点」の原稿案が示された. 本原稿内容について, 委員により修正案や表現方法についてのコメントが出され, 次回以降に修正原稿案を提出することとなった.</p> <p>4. 各章の進捗状況の報告 目次案に沿って, 各章・節の進捗(脱稿)状況の確認が行われた. 旧 2 章・3 章を合体することとなったため, 3 章以降の章番号は繰り上げて原稿作成をするように周知された.</p> <p>5. 次回会合予定 次回会合は, 5 月下旬~6 月上旬に開催予定.</p>
備 考	

専門委員会開催報告

専門委員会名	第11回「遮蔽計算の応用技術」研究専門委員会
開催日時	平成30年12月12日(水) 13:30-17:00
開催場所	理化学研究所 東京連絡事務所 東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング(COREDO 日本橋)15階会議室 1+2
参加人数	15名, 上叢(理研), 浅見(海技研), 根本(日立 GE), 糸賀(JASRI), 奥村(JAEA), 助川(QST), 谷口(大成建設), 松下(東芝 ESS), 中根(JAEA), 大石(日環研), 今野(JAEA), 中村(東北大), 中田(MHI-NS), 坂本(アトックス), 平山(KEK)
議 事	<p>1. 主査挨拶および事務連絡 主査より, 配布資料の確認があった.</p> <p>2. 前回議事録の確認 主査より, 第10回会合議事録案について説明があり, 変更なく承認された.</p> <p>3. 現行の2章と3章を合体させる案について 現行の2章と3章を合体させる案について説明があり, 内容について検討した.</p> <p>4. 4.4節 Sn-随伴 Sn 結合計算法の計算例 原稿案 4.4節原稿案について説明があり, 内容について検討した.</p> <p>5. 5.7節 輸送容器体系で行われた放射線透過試験のベンチマーク解析 原稿案 5.7節原稿案について説明があり, 内容について検討した.</p> <p>6. 6.4節 使用済燃料輸送容器の遮蔽計算 原稿案 6.4節原稿案について説明があり, 内容について検討した.</p> <p>7. 7.5節 粒子線治療施設 原稿案 7.7節原稿案について説明があり, 内容について検討した.</p> <p>8. 各章の進捗状況の報告 各章の進捗状況が報告された.</p> <p>9. 次回会合予定 第12回会合は2月下旬~3月上旬を開催予定.</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備 考	

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 10 回「遮蔽計算の応用技術」研究専門委員会
開催日時	平成 30 年 10 月 12 日(金) 13:30-17:00
開催場所	理化学研究所 東京連絡事務所 東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング(COREDO 日本橋)15 階会議室 1+2
参加人数	17 名, 上叢主査(理研), 奥村幹事(JAEA), 浅見幹事(海技研), 糸賀幹事(JASRI), 根本幹事(日立 GE), 安納(大成建設), 奥野(安藤ハザマ), 西山(大成建設谷口代理), 杉田(SSL), 大石(日環研), 今野(JAEA), 中根(JAEA), 佐藤(QST), 助川(QST), 中村(東北大), 坂本(アトックス), 平山(KEK)
議 事	<p>1. 事務連絡及び議事録の確認 上叢主査より, 遮蔽ハンドブック(基礎編)の第 6 刷の増刷された旨報告があった. 第9回会合議事録案は変更なく承認された.</p> <p>2. 講演 JAEA 今野委員 3.2 節「核データライブラリー、レスポンスデータ」及び 4.2 節「感度解析、誤差解析」 の原稿案が紹介され内容について検討した.</p> <p>3. 講演 理研 上叢主査 7.6 節「ホウ素中性子捕捉療法」の原稿案が紹介され, 内容について検討した.</p> <p>4. 各章の進捗状況の報告 各章の進捗状況が報告され, 2019 年夏での脱稿を目指し, 2018 年度内を目標に原稿をそろえることが確認された.</p> <p>5. 次回会合予定 第 11 回会合は 12 月に, 理化学研究所, 東京連絡事務所で開催予定.</p>
備 考	

平成 30 年 7 月 25 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第9回「遮蔽計算の応用技術」研究専門委員会
開催日時	平成 30 年 7 月 19 日(木) 13:30-17:00
開催場所	理化学研究所 東京連絡事務所 東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング(COREDO 日本橋)15 階会議室 1+2
参加人数	16 名, 上叢主査(理研), 根本幹事(日立 GE), 安納(大成建設), 奥野(安藤ハザマ), 谷口(大成建設), 杉田(SSL), 鎌田(海技研), 大石(日環研), 糸賀幹事(JASRI), 今野(JAEA), 中根(JAEA), 佐藤(QST), 助川(QST), 中村(東北大), 坂本(アトックス), 平山(KEK)
議 事	<p>1. 事務連絡及び議事録の確認 上叢主査より, 本委員会の会期が 2 年延長(2020 年 3 月まで)されることが学会に承認された旨報告があった。また, 基礎編の第 6 刷の増刷が決まった旨報告があった。第 8 回会合議事録案は変更なく承認された。</p> <p>2. 講演 QST 助川委員 7.7 節「核融合炉試験装置」の原稿案が紹介され内容について検討した。</p> <p>3. 講演 JAEA 今野委員 5.2 節「バルク遮蔽実験-原子炉-」及び 5.3 節「バルク遮蔽実験-14MeV 中性子-」の原稿案が紹介され, 内容について検討した。</p> <p>4. 各章の進捗状況の報告 各章の進捗状況が報告され, 2019 年夏での脱稿を目指し, 2018 年度内を目標に原稿をそろえることが確認された。</p> <p>5. 次回会合予定 第 10 回会合は 9 月末から 10 月初旬にかけて, 理化学研究所, 東京連絡事務所で開催予定。</p>
備 考	